

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/07/22号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



ドライブシーズンで戻り高値更新後、調整売り優勢

NY原油先物相場は、1バレル=69.65ドルまで上昇して6月23日以来の高値を更新した後、66ドル水準まで軟化する展開になった。ドライブシーズンの需給引き締まりを織り込む動きが続き、70ドル目前まで上値を切り上げた。しかし、70ドルは上げ過ぎとの見方も強く、短期筋の利食い売りで65.02ドルまで反落した。イラク北部クルド自治区の油田に対するドローン攻撃で供給不安が強くなったことはポジティブ、米ガソリン在庫の増加報告とドル高はネガティブ。

ドライブシーズンのガソリン需要環境について、強気の見方が強い。米国では消費環境の底固さが確認されており、関税の影響で景気の先行き不透明感は強まるも、個人消費は良好な状態を維持している。行楽需要が底固く推移する中、堅調なガソリン需要が短期需給のひっ迫感を強めている。ただし、7月16日発表の米週間需給統計では、ガソリン在庫の増加、ガソリン出荷量の減少、製油所稼働率の低下などが報告されたことで、週前半の上昇一服後は調整売り優勢の展開になった。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（7月11日時点）は、原油が前週比386万バレル減、ガソリンが340万バレル増、石油精製品が417万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

70ドル台への抵抗確認、60ドル台中盤から後半での取引継続

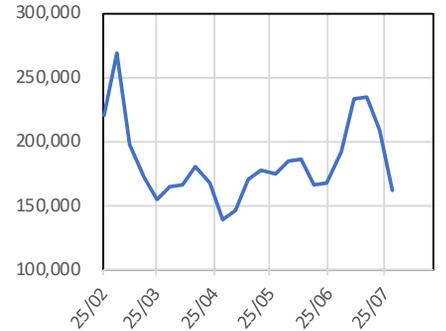
ドライブシーズン中の短期需給引き締まりが原油相場を下支えするが、70ドル台にレンジを切り上げていくことは難しく、このまま60ドル台中盤から後半での取引が続く見通し。引き続きWTI原油先物は期近限月に対して大きなプレミアムが加算された逆サヤ（期近高・期先安）環境にあり、特に原油・石油製品在庫の減少が報告されると、買いが膨らみやすくなる。一方で、あくまでも季節的な需給引き締まりに留まる見通しであり、時間の経過とともに上昇エネルギーは縮小していく見通し。このため大きく上値を切り上げていくことは難しく、ボックス気味の展開になろう。

価格上振れリスクとしては、イラク北部クルド自治区でドローンによる油田への攻撃が続いていることに注意したい。犯行主体が明らかになっていないが、日量15万バレル前後の生産喪失が報告されている。攻撃が更に激化・長期化すると、供給不安の織り込みで投機買いが膨らむ可能性がある。また、米国内需給動向に対する関心が高まっているため、7月23日の米週間需給統計で原油・石油製品在庫がどのように変動するのも引き続き重要だ。

一方、トランプ米政権が通知した関税の発動が8月1日に迫っており、残された交渉期間は2週間を切っている。ベトナム、インドネシアに続いて欧州連合（EU）など主要国との間で通商合意が実現すると、需要不安の後退や投資家のリスク選好性の高まりが、原油相場を押し上げよう。逆に協議の難航が報告され、更に関税によるインフレリスクが米金利上昇・ドル高を促す展開が続くと、調整売りが膨らみやすくなる。

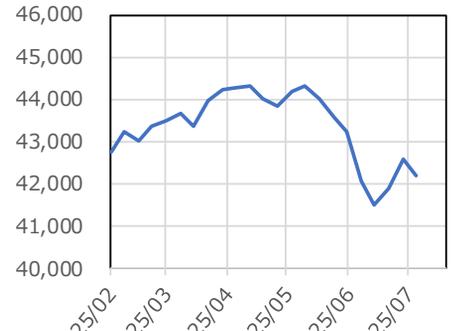
WTI原油先物は7月22日が8月限の取引最終日になるため、持高調整による不規則な値動きにも注意が必要。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



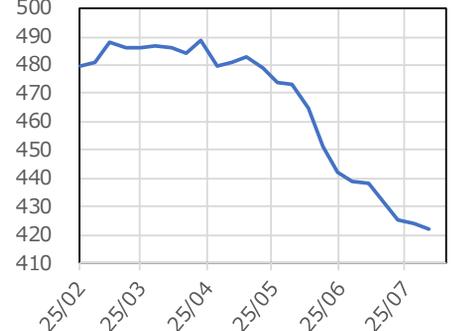
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

